

京都環境賞 西京極大門ハイツの取組について

ここでは、マンション住民によるエコ活動が評価され、「既存マンションのスマート化による省エネの推進と情報発信」をテーマとして、京都環境賞を受賞された西京極大門ハイツ管理組合法人の取組をご紹介します。

西京極大門ハイツの活動の中では、居住性の向上や光熱費の縮減等に寄与するため、高経年マンションにおける省エネ改修等に、住民合意の下で、長年にわたって取り組まれ、実践例を見学会やインターネットサイト等を通じて広く発信されています。また、取組の結果、電気使用量を市内の一般家庭と比べて約36%縮減される等、大きな具体的な成果を認められています。



※ 町内会やPTAなどおおむね10世帯以上が集まったグループで最大2年間、省エネに取り組んでいただき、電気及びガス使用量の削減成果に応じて奨励金（削減された二酸化炭素量に換算して、1トンにつき1万円）を交付する制度です。

エコ学区サポートセンター

エコ活動に関するご相談に対応し、地域のエコな取組の提案や助言等、活動を支援しています

所在地 〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町13 京エコロジーセンター 2階活動支援室

- **地下鉄・近鉄**
「竹田駅」下車東へ徒歩12分
 - **京阪電車**
「藤森駅」下車西へ徒歩5分
 - **市バス 南5・南8・臨南5**
「青少年文化センター」京エコロジー
下車南へ100m
 - **名神高速道路**
「深草バスストップ」下車すぐ



発行 京都市環境政策局地球温暖化対策室 【電話】075-222-4555 【FAX】075-211-9286

【電話】075-641-3686 平日10~18時(土・日・祝日除く)

毎日16日は「DO YOU KYOTO? デー」(環境に良いことをする日)です

毎月10日は「ISO14001認定日」(環境に良いことをする日)です。公共交通の利用や省エネ・節電など、みんなで環境にやさしい取組を実践しましょう。

この事業は家庭での有料指定袋の回収が使われています。

この事業は家庭ごみの有料指定袋の収入が使われています。

この印刷物が不要になれば



エコ学区かいらんばん 第7号

市内の全222学区が工コ学区に

京都市では、環境にやさしいライフスタイルへの転換や省エネなど、地域ぐるみの主体的なエコ活動を推進する「エコ学区」を支援しています。平成25年度からは、市内の全学区がエコ学区となり、エコ活動を実施されることを目指してきましたが、この度、学区の皆様のご協力を得て、平成28年1月に市内の全222学区がエコ学区となりました。



京都環境賞「エコ学区部門」について

「京都環境賞」とは、地球温暖化の防止や循環型社会の形成をはじめ、環境の保全を目的とした市民や事業者の皆様の自主的な実践活動を更に推進するため、先進的な活動等に取り組んでおられる個人又は団体を表彰する制度です。平成27年度（第13回）京都環境賞における賞の種類は、右表のとおりとなっています。

今回は、平成27年度のエコ学区部門で、「エコ学区特別推進賞」及び「エコ学区推進賞」を受賞された学区の取組をご紹介します。



※ 平成 27 年度の工コ学区部門では、工コ学区の全学区への拡大を後押すため、平成 25 年度又は平成 26 年度に工コ学区となった 174 学区のうち、特に先進性や発展性のある主体的な工コ活動を実施された学区を選定しました。
なお、平成 23 年度又は平成 24 年度にモデル学区として先進的に工コ活動を展開していただいた 26 学区（各区役所・支所管内から 1 学区、川崎市は全 13 学区）については、今回の表彰の対象外といたします。

賞の種類
京都環境賞
特別賞（市民活動賞）
特別賞（企業活動賞）
特別賞（環境教育賞）
特別賞（KES 推進賞）
特別賞（環境未来賞）
奨励賞
（エコ学区部門）
エコ学区特別推進賞
（エコ学区部門）
エコ学区推進賞



京都環境賞「エコ学区特別推進賞」

南太秦学区(右京区)

<テーマ> モビリティ・マネジメント事業の先駆けとなった地域活動

住民参加型の公共交通利用促進のために、モビリティ・マネジメント事業（1人1人の移動を望ましい方向に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした政策）を先駆的に開始し、現在もバスの利用を促す取組を継続され、その結果、バスの一日平均利用者数が増加し、「バスの駅」が設置される等、具体的な成果を収められました。



また、エコ学区の活動メニューとして提供している「エコ学区チャレンジプログラム」では、「エコなおでかけ」をテーマにエコな移動手段の実践に取り組まれ、エコドライブの実践講習等を体験されました。

そのほか、自治連合会、小学校等が協力し、エコ学区の支援物品である「グリーンカーテンセット（ゴーヤの苗）」を活用して、小学校の壁面緑化に平成26年から2年続けて取り組まれました。



南太秦自治連合会の高岡会長によると、学区内の住民にバス利用を促進するだけでなく、南太秦学区を走るバスの路線に含まれる近隣の学区に対しても、バスの利用を呼びかけているそうで、その背景には、住民の高齢化等による自治会加入率の低下があるとのことです。更なる取組に向けて実現に至っていないアイデアが多数あるので、引き続き、バス利用を促し、自家用車の利用を減らしていきながら、環境にやさしい新たな取組をされるそうです。今後は、学校運営協議会の一員としても、地元の小学生と一緒に環境学習をしていきたい、と意気込みを語られていました。

「危機感を持って取り組む。わかってもらうために、何度も足を運ぶ。手間暇をかける。じつとしていても、何も手に入らない。なんでもやってみなわからん。「できない」ではなく、できる方法を探す。手探りでも他より早く着手し、1番を目指す。そうすることで、光の当たり方が変わる…。」



「エコ学区推進賞」受賞学区の取組

元町学区(北区) <テーマ>「エコの日」の設定による学区内への環境啓発

学区が「エコ学区」になったことを契機に、「元町エコの日」を定め、学区全体にエコ活動を広げたとともに、環境についての啓発活動を実施されています。

出水学区(上京区) <テーマ>使用済てんぶら油を用いた小学校での石けん作り

学区内の各拠点から回収した使用済てんぶら油を利用し、女性会が中心となって、小学校において石けん作りを実施されています。

吉田学区(左京区) <テーマ>学区内の各団体が協働した吉田山の再生を通じた環境活動

吉田山の自然を守り、里山を再生させることを目的に、学区内の様々な団体が協働して、清掃や植樹等を行なう自然環境の保全活動を実施されています。

朱雀第六学区(中京区) <テーマ>二条駅を中心とした地域主体の環境活動

自治連合会が主体となり、「ごみゼロ運動」と題した二条駅一帯の一斉清掃を実施するとともに、駅周辺で緑化活動を実施されました。

粟田学区(東山区) <テーマ>白川の河川美化による環境保全活動

白川及びその周辺の自然環境の保全のため、河川の一斉清掃を行うとともに、「エコ学区」で取り組む学習会を複数回開催されました。

梅津学区(下京区) <テーマ>地域ごみ減量推進会議を中心としたエコ活動

エコな取組を重視した祭においてエコ工作の実施やリユース食器の利用を進めるとともに、コンポストを利用した堆肥化を実施されています。

上鳥羽学区(南区) <テーマ>ごみ減量の啓発・実施を通じた環境活動

ごみの減量をテーマに学区の夏祭りをエコ化するとともに、使用済てんぶら油を利用した石けん作りを行う学習会を開催されました。

松陽学区(西京区) <テーマ>モビリティ・マネジメント事業による公共交通の利用

公共交通機関であるバスの利用を呼び掛けるモビリティ・マネジメント事業に取り組むことで、自家用車の使用を控えるよう啓発されています。

大原野地域(西京区)(洛西支所) <テーマ>生ごみのリサイクルと農作物の地産地消

地域で集めた生ごみを堆肥化することで、ごみの減量とリサイクルを図るとともに、自然豊かな環境を背景に生産された農作物を近隣市街地で販売する地産地消に取り組まれています。

南浜学区(伏見区) <テーマ>一斉清掃により収集した落ち葉の堆肥化

一斉清掃の際に収集した落ち葉を、小学校等で堆肥化することで、ごみの減量に努めるとともに、堆肥をグリーンカーテン等に利用されています。

砂川学区(伏見区)(深草支所) <テーマ>山間地域との姉妹交流による自然環境教育

山間地域との姉妹交流を行う「さと・まちコラボ」を活用し、里山の自然を体感することにより、生物多様性や自然環境の保全について学ばれています。

小栗柄宮山学区(伏見区)(醍醐支所) <テーマ>堆肥化による地産地消の取組

学区内で収集した落ち葉の堆肥を用いて、野菜等の栽培を行い、小学校等で調理する地産地消の活動を実施されています。

